

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名： 北海道)(地区名： 笹川)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農家経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の () には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 笹川)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ —	B
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	397	B
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	10.8	B
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	0.9	
			高収益作物の作付率	—	—	—
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	96.0	A
			農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	100.0
		②作付率の増加ポイント		%	0.2	
		農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の健全度を踏まえた更新等整備	—	B	B
施設の重要度を踏まえた更新等整備	—		B	B		
農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	402	B	
	農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話し合い	—	○ ○	A	
	再生可能エネルギーの導入	小水力発電等の再生可能エネルギーの導入	—	B	B	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組 生態系・景観への配慮	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A	
		①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a —	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	—	—
	関係計画との連携		①都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ⑤地域における開発計画と本事業との整合性 ⑥関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	緊急性		国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い	—	A	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	61.1	B

笹川地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,970,633
当該事業による費用	②	1,090,766
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	879,867
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	48年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	4,261,297
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.16

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点)	当該事業に よる費用	関連事業に よる費用	再整備費	資産価額 (評価期間 終了時点)	総費用 ⑥＝ ①＋②＋③ ＋④－⑤
		①	②	③	④	⑤	
当 該 事 業	区画整理	-	930,999	-	171,815	51,687	1,051,127
	農業用排水施設	-	159,767	-	14,605	13,692	160,680
	計	-	1,090,766	-	186,420	65,379	1,211,807
そ の 他	国営造成施設	-	-	743,299	101,911	88,160	757,050
	道営造成施設	1,090	-	-	711	25	1,776
	計	1,090	-	743,299	102,622	88,185	758,826
合 計		1,090	1,090,766	743,299	289,042	153,564	1,970,633

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		55,051	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		178,019	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 738	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		17,939	農業用排水施設整備及び区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		250,271	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	2,421	52,630	0.0	0	2,421	2,328	
2	R9	1.0816	2	2,421	52,630	0.0	0	2,421	2,238	
3	R10	1.1249	3	2,421	52,630	12.2	6,421	8,842	7,860	
4	R11	1.1699	4	2,421	52,630	31.1	16,368	18,789	16,060	
5	R12	1.2167	5	2,421	52,630	45.6	23,999	26,420	21,714	
6	R13	1.2653	6	2,421	52,630	57.1	30,052	32,473	25,664	
7	R14	1.3159	7	2,421	52,630	60.6	31,894	34,315	26,077	
8	R15	1.3686	8	2,421	52,630	97.5	51,314	53,735	39,263	
9	R16	1.4233	9	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	38,678	
10	R17	1.4802	10	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	37,192	
11	R18	1.5395	11	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	35,759	
12	R19	1.6010	12	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	34,385	
13	R20	1.6651	13	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	33,062	
14	R21	1.7317	14	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	31,790	
15	R22	1.8009	15	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	30,569	
16	R23	1.8730	16	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	29,392	
17	R24	1.9479	17	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	28,262	
18	R25	2.0258	18	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	27,175	
19	R26	2.1068	19	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	26,130	
20	R27	2.1911	20	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	25,125	
21	R28	2.2788	21	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	24,158	
22	R29	2.3699	22	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	23,229	
23	R30	2.4647	23	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	22,336	
24	R31	2.5633	24	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	21,477	
25	R32	2.6658	25	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	20,651	
26	R33	2.7725	26	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	19,856	
27	R34	2.8834	27	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	19,092	
28	R35	2.9987	28	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	18,358	
29	R36	3.1187	29	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	17,652	
30	R37	3.2434	30	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	16,973	
31	R38	3.3731	31	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	16,321	
32	R39	3.5081	32	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	15,693	
33	R40	3.6484	33	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	15,089	
34	R41	3.7943	34	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	14,509	
35	R42	3.9461	35	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	13,951	
36	R43	4.1039	36	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	13,414	
37	R44	4.2681	37	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	12,898	
38	R45	4.4388	38	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	12,402	
39	R46	4.6164	39	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	11,925	
40	R47	4.8010	40	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	11,467	
41	R48	4.9931	41	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	11,025	
42	R49	5.1928	42	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	10,601	
43	R50	5.4005	43	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	10,194	
44	R51	5.6165	44	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	9,802	
45	R52	5.8412	45	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	9,425	
46	R53	6.0748	46	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	9,062	
47	R54	6.3178	47	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	8,714	
48	R55	6.5705	48	2,421	52,630	100.0	52,630	55,051	8,379	
合計 (総便益額)									937,376	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	178,019	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	178,019	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	178,019	16.8	29,907	29,907	26,586	
4	R11	1.1699	4	-	178,019	35.6	63,375	63,375	54,171	
5	R12	1.2167	5	-	178,019	50.2	89,366	89,366	73,449	
6	R13	1.2653	6	-	178,019	61.6	109,660	109,660	86,667	
7	R14	1.3159	7	-	178,019	68.9	122,655	122,655	93,210	
8	R15	1.3686	8	-	178,019	98.1	174,637	174,637	127,603	
9	R16	1.4233	9	-	178,019	100.0	178,019	178,019	125,075	
10	R17	1.4802	10	-	178,019	100.0	178,019	178,019	120,267	
11	R18	1.5395	11	-	178,019	100.0	178,019	178,019	115,634	
12	R19	1.6010	12	-	178,019	100.0	178,019	178,019	111,192	
13	R20	1.6651	13	-	178,019	100.0	178,019	178,019	106,912	
14	R21	1.7317	14	-	178,019	100.0	178,019	178,019	102,800	
15	R22	1.8009	15	-	178,019	100.0	178,019	178,019	98,850	
16	R23	1.8730	16	-	178,019	100.0	178,019	178,019	95,045	
17	R24	1.9479	17	-	178,019	100.0	178,019	178,019	91,390	
18	R25	2.0258	18	-	178,019	100.0	178,019	178,019	87,876	
19	R26	2.1068	19	-	178,019	100.0	178,019	178,019	84,497	
20	R27	2.1911	20	-	178,019	100.0	178,019	178,019	81,246	
21	R28	2.2788	21	-	178,019	100.0	178,019	178,019	78,120	
22	R29	2.3699	22	-	178,019	100.0	178,019	178,019	75,117	
23	R30	2.4647	23	-	178,019	100.0	178,019	178,019	72,227	
24	R31	2.5633	24	-	178,019	100.0	178,019	178,019	69,449	
25	R32	2.6658	25	-	178,019	100.0	178,019	178,019	66,779	
26	R33	2.7725	26	-	178,019	100.0	178,019	178,019	64,209	
27	R34	2.8834	27	-	178,019	100.0	178,019	178,019	61,739	
28	R35	2.9987	28	-	178,019	100.0	178,019	178,019	59,365	
29	R36	3.1187	29	-	178,019	100.0	178,019	178,019	57,081	
30	R37	3.2434	30	-	178,019	100.0	178,019	178,019	54,887	
31	R38	3.3731	31	-	178,019	100.0	178,019	178,019	52,776	
32	R39	3.5081	32	-	178,019	100.0	178,019	178,019	50,745	
33	R40	3.6484	33	-	178,019	100.0	178,019	178,019	48,794	
34	R41	3.7943	34	-	178,019	100.0	178,019	178,019	46,917	
35	R42	3.9461	35	-	178,019	100.0	178,019	178,019	45,113	
36	R43	4.1039	36	-	178,019	100.0	178,019	178,019	43,378	
37	R44	4.2681	37	-	178,019	100.0	178,019	178,019	41,709	
38	R45	4.4388	38	-	178,019	100.0	178,019	178,019	40,105	
39	R46	4.6164	39	-	178,019	100.0	178,019	178,019	38,562	
40	R47	4.8010	40	-	178,019	100.0	178,019	178,019	37,080	
41	R48	4.9931	41	-	178,019	100.0	178,019	178,019	35,653	
42	R49	5.1928	42	-	178,019	100.0	178,019	178,019	34,282	
43	R50	5.4005	43	-	178,019	100.0	178,019	178,019	32,963	
44	R51	5.6165	44	-	178,019	100.0	178,019	178,019	31,696	
45	R52	5.8412	45	-	178,019	100.0	178,019	178,019	30,476	
46	R53	6.0748	46	-	178,019	100.0	178,019	178,019	29,305	
47	R54	6.3178	47	-	178,019	100.0	178,019	178,019	28,177	
48	R55	6.5705	48	-	178,019	100.0	178,019	178,019	27,094	
合計 (総便益額)									3,036,268	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	維持管理費節減効果							備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		左 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤			
1	R8	1.0400	1	△ 1,205	467	0.0	0	△ 1,205	△ 1,159		
2	R9	1.0816	2	△ 1,205	467	0.0	0	△ 1,205	△ 1,114		
3	R10	1.1249	3	△ 1,205	467	0.0	0	△ 1,205	△ 1,071		
4	R11	1.1699	4	△ 1,205	467	0.0	0	△ 1,205	△ 1,030		
5	R12	1.2167	5	△ 1,205	467	0.0	0	△ 1,205	△ 990		
6	R13	1.2653	6	△ 1,205	467	0.0	0	△ 1,205	△ 952		
7	R14	1.3159	7	△ 1,205	467	0.0	0	△ 1,205	△ 916		
8	R15	1.3686	8	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 539		
9	R16	1.4233	9	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 519		
10	R17	1.4802	10	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 499		
11	R18	1.5395	11	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 479		
12	R19	1.6010	12	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 461		
13	R20	1.6651	13	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 443		
14	R21	1.7317	14	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 426		
15	R22	1.8009	15	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 410		
16	R23	1.8730	16	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 394		
17	R24	1.9479	17	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 379		
18	R25	2.0258	18	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 364		
19	R26	2.1068	19	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 350		
20	R27	2.1911	20	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 337		
21	R28	2.2788	21	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 324		
22	R29	2.3699	22	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 311		
23	R30	2.4647	23	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 299		
24	R31	2.5633	24	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 288		
25	R32	2.6658	25	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 277		
26	R33	2.7725	26	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 266		
27	R34	2.8834	27	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 256		
28	R35	2.9987	28	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 246		
29	R36	3.1187	29	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 237		
30	R37	3.2434	30	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 228		
31	R38	3.3731	31	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 219		
32	R39	3.5081	32	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 210		
33	R40	3.6484	33	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 202		
34	R41	3.7943	34	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 195		
35	R42	3.9461	35	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 187		
36	R43	4.1039	36	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 180		
37	R44	4.2681	37	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 173		
38	R45	4.4388	38	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 166		
39	R46	4.6164	39	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 160		
40	R47	4.8010	40	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 154		
41	R48	4.9931	41	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 148		
42	R49	5.1928	42	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 142		
43	R50	5.4005	43	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 137		
44	R51	5.6165	44	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 131		
45	R52	5.8412	45	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 126		
46	R53	6.0748	46	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 121		
47	R54	6.3178	47	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 117		
48	R55	6.5705	48	△ 1,205	467	100.0	467	△ 738	△ 112		
合計 (総便益額)									△ 18,444		

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－4

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	722	17,217	0.0	0	722	694	
2	R9	1.0816	2	722	17,217	0.0	0	722	668	
3	R10	1.1249	3	722	17,217	13.1	2,255	2,977	2,646	
4	R11	1.1699	4	722	17,217	32.2	5,544	6,266	5,356	
5	R12	1.2167	5	722	17,217	47.0	8,092	8,814	7,244	
6	R13	1.2653	6	722	17,217	58.5	10,072	10,794	8,531	
7	R14	1.3159	7	722	17,217	62.5	10,761	11,483	8,726	
8	R15	1.3686	8	722	17,217	97.5	16,787	17,509	12,793	
9	R16	1.4233	9	722	17,217	100.0	17,217	17,939	12,604	
10	R17	1.4802	10	722	17,217	100.0	17,217	17,939	12,119	
11	R18	1.5395	11	722	17,217	100.0	17,217	17,939	11,652	
12	R19	1.6010	12	722	17,217	100.0	17,217	17,939	11,205	
13	R20	1.6651	13	722	17,217	100.0	17,217	17,939	10,774	
14	R21	1.7317	14	722	17,217	100.0	17,217	17,939	10,359	
15	R22	1.8009	15	722	17,217	100.0	17,217	17,939	9,961	
16	R23	1.8730	16	722	17,217	100.0	17,217	17,939	9,578	
17	R24	1.9479	17	722	17,217	100.0	17,217	17,939	9,209	
18	R25	2.0258	18	722	17,217	100.0	17,217	17,939	8,855	
19	R26	2.1068	19	722	17,217	100.0	17,217	17,939	8,515	
20	R27	2.1911	20	722	17,217	100.0	17,217	17,939	8,187	
21	R28	2.2788	21	722	17,217	100.0	17,217	17,939	7,872	
22	R29	2.3699	22	722	17,217	100.0	17,217	17,939	7,570	
23	R30	2.4647	23	722	17,217	100.0	17,217	17,939	7,278	
24	R31	2.5633	24	722	17,217	100.0	17,217	17,939	6,998	
25	R32	2.6658	25	722	17,217	100.0	17,217	17,939	6,729	
26	R33	2.7725	26	722	17,217	100.0	17,217	17,939	6,470	
27	R34	2.8834	27	722	17,217	100.0	17,217	17,939	6,221	
28	R35	2.9987	28	722	17,217	100.0	17,217	17,939	5,982	
29	R36	3.1187	29	722	17,217	100.0	17,217	17,939	5,752	
30	R37	3.2434	30	722	17,217	100.0	17,217	17,939	5,531	
31	R38	3.3731	31	722	17,217	100.0	17,217	17,939	5,318	
32	R39	3.5081	32	722	17,217	100.0	17,217	17,939	5,114	
33	R40	3.6484	33	722	17,217	100.0	17,217	17,939	4,917	
34	R41	3.7943	34	722	17,217	100.0	17,217	17,939	4,728	
35	R42	3.9461	35	722	17,217	100.0	17,217	17,939	4,546	
36	R43	4.1039	36	722	17,217	100.0	17,217	17,939	4,371	
37	R44	4.2681	37	722	17,217	100.0	17,217	17,939	4,203	
38	R45	4.4388	38	722	17,217	100.0	17,217	17,939	4,041	
39	R46	4.6164	39	722	17,217	100.0	17,217	17,939	3,886	
40	R47	4.8010	40	722	17,217	100.0	17,217	17,939	3,737	
41	R48	4.9931	41	722	17,217	100.0	17,217	17,939	3,593	
42	R49	5.1928	42	722	17,217	100.0	17,217	17,939	3,455	
43	R50	5.4005	43	722	17,217	100.0	17,217	17,939	3,322	
44	R51	5.6165	44	722	17,217	100.0	17,217	17,939	3,194	
45	R52	5.8412	45	722	17,217	100.0	17,217	17,939	3,071	
46	R53	6.0748	46	722	17,217	100.0	17,217	17,939	2,953	
47	R54	6.3178	47	722	17,217	100.0	17,217	17,939	2,839	
48	R55	6.5705	48	722	17,217	100.0	17,217	17,939	2,730	
合計 (総便益額)									306,097	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、小豆、てんさい、ばれいしょ（加工）、ばれいしょ（種子）、キャベツ、青刈りとうもろこし、牧草

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

$$\ast 1 \text{ 単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$\ast 2 \text{ 作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤ = ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収 kg/10a	事業ありせば単収 kg/10a	効果対象単収 kg/10a					
小麦	新設	ha	ha	5.4	単収増(乾畑化Ⅰ)	603	784	181	9.8	-	-	-	-
				22.2	単収増(土層改良Ⅰ)	603	724	121	26.9	-	-	-	-
				1.2	単収増(乾畑化Ⅱ)	603	784	181	2.2	-	-	-	-
				2.3	単収増(乾畑化Ⅲ)	603	784	181	4.2	-	-	-	-
				26.6	単収増(乾畑化Ⅳ)	603	693	90	23.9	-	-	-	-
				0.2	単収増(乾畑化Ⅴ)	603	784	181	0.4	-	-	-	-
				0.2	単収増(乾畑化Ⅵ)	603	784	181	0.4	-	-	-	-
				0.3	単収増(乾畑化Ⅶ)	603	784	181	0.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	68.3	75	5,123	87	4,457
				1.1	作付増	-	-	662	7.3	-	-	-	-
		小計	-	-	-	7.3	75	548	-	-			
	更新	115.6	115.6	115.6	減産防止(水害防止)	600	603	3	3.5	-	-	-	
					小計	-	-	-	3.5	75	263	87	229
					小麦 計	-	-	-	-	-	5,934	-	4,686
大豆	新設	30.5	30.8	1.4	単収増(乾畑化Ⅰ)	289	376	87	1.2	-	-	-	-
				5.9	単収増(土層改良Ⅰ)	289	347	58	3.4	-	-	-	-
				0.3	単収増(乾畑化Ⅱ)	289	376	87	0.3	-	-	-	-
				0.6	単収増(乾畑化Ⅲ)	289	376	87	0.5	-	-	-	-
				7.0	単収増(乾畑化Ⅳ)	289	332	43	3.0	-	-	-	-
				0.1	単収増(乾畑化Ⅴ)	289	376	87	0.1	-	-	-	-
				0.1	単収増(乾畑化Ⅶ)	289	376	87	0.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	8.6	148	1,273	88	1,120
				0.3	作付増	-	-	317	1.0	-	-	-	-
		小計	-	-	-	1.0	148	148	-	-			
	更新	30.5	30.5	30.5	減産防止(水害防止)	288	289	1	0.3	-	-	-	
				小計	-	-	-	0.3	148	44	88	39	
				大豆 計	-	-	-	-	-	1,465	-	1,159	

小豆	新設	55.4	56.0	2.6	単収増 (乾畑化Ⅰ)	265	345	80	2.1	-	-	-	-
				10.7	単収増 (土層改良Ⅰ)	265	318	53	5.7	-	-	-	-
				0.6	単収増 (乾畑化Ⅱ)	265	345	80	0.5	-	-	-	-
				1.1	単収増 (乾畑化Ⅲ)	265	345	80	0.9	-	-	-	-
				12.8	単収増 (乾畑化Ⅳ)	265	305	40	5.1	-	-	-	-
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅴ)	265	345	80	0.1	-	-	-	-
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅵ)	265	345	80	0.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	14.5	397	5,757	88	5,066
				0.6	作付増	-	-	291	1.7	-	-	-	-
					小計	-	-	-	1.7	397	675	-	-
	更新	55.4	55.4	55.4	減産防止 (水害防止)	264	265	1	0.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.6	397	238	88	209
						小豆 計	-	-	-	-	6,670	-	5,275
	てんさい	新設	83.1	83.9	3.9	単収増 (乾畑化Ⅰ)	6,227	8,095	1,868	72.9	-	-	-
16.0					単収増 (土層改良Ⅰ)	6,227	7,472	1,245	199.2	-	-	-	-
0.8					単収増 (乾畑化Ⅱ)	6,227	8,095	1,868	14.9	-	-	-	-
1.6					単収増 (乾畑化Ⅲ)	6,227	8,095	1,868	29.9	-	-	-	-
19.1					単収増 (乾畑化Ⅳ)	6,227	7,161	934	178.4	-	-	-	-
0.1					単収増 (乾畑化Ⅴ)	6,227	8,095	1,868	1.9	-	-	-	-
0.2					単収増 (乾畑化Ⅵ)	6,227	8,095	1,868	3.7	-	-	-	-
					小計	-	-	-	500.9	11	5,510	86	4,739
0.8					作付増	-	-	6,830	54.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	54.6	11	601	-	-
更新		83.1	83.1	83.1	減産防止 (水害防止)	6,199	6,227	28	23.3	-	-	-	-
					小計	-	-	-	23.3	11	256	86	220
						てんさい 計	-	-	-	-	6,367	-	4,959
ばれいしょ (加工)		新設	38.3	38.7	1.8	単収増 (乾畑化Ⅰ)	3,320	4,316	996	17.9	-	-	-
	7.4				単収増 (土層改良Ⅰ)	3,320	3,984	664	49.1	-	-	-	-
	0.4				単収増 (乾畑化Ⅱ)	3,320	4,316	996	4.0	-	-	-	-
	0.8				単収増 (乾畑化Ⅲ)	3,320	4,316	996	8.0	-	-	-	-
	8.8				単収増 (乾畑化Ⅳ)	3,320	3,818	498	43.8	-	-	-	-
	0.1				単収増 (乾畑化Ⅴ)	3,320	4,316	996	1.0	-	-	-	-
	0.1				単収増 (乾畑化Ⅵ)	3,320	4,316	996	1.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	124.8	51	6,365	92	5,856
	0.4				作付増	-	-	3,646	14.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	14.6	51	745	31	231
	更新	38.3	38.3	38.3	減産防止 (水害防止)	3,304	3,320	16	6.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	6.1	51	311	92	286
						ばれいしょ (加工) 計	-	-	-	-	7,421	-	6,373
	ばれいしょ (種子)	新設	42.8	43.2	2.0	単収増 (乾畑化Ⅰ)	3,320	4,316	996	19.9	-	-	-
8.2					単収増 (土層改良Ⅰ)	3,320	3,984	664	54.4	-	-	-	-
0.4					単収増 (乾畑化Ⅱ)	3,320	4,316	996	4.0	-	-	-	-
0.8					単収増 (乾畑化Ⅲ)	3,320	4,316	996	8.0	-	-	-	-
9.9					単収増 (乾畑化Ⅳ)	3,320	3,818	498	49.3	-	-	-	-
0.1					単収増 (乾畑化Ⅴ)	3,320	4,316	996	1.0	-	-	-	-
0.1					単収増 (乾畑化Ⅵ)	3,320	4,316	996	1.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	137.6	89	12,246	92	11,266
0.4					作付増	-	-	3,641	14.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	14.6	89	1,299	31	403
更新		42.8	42.8	42.8	減産防止 (水害防止)	3,305	3,320	15	6.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	6.4	89	570	92	524
						ばれいしょ (種子) 計	-	-	-	-	14,115	-	12,193

キャベツ	新設	10.5	10.6	0.5	単収増 (乾畑化Ⅰ)	7,400	9,620	2,220	11.1	-	-	-	-	
				2.0	単収増 (土層改良Ⅰ)	7,400	8,880	1,480	29.6	-	-	-	-	
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅱ)	7,400	9,620	2,220	2.2	-	-	-	-	
				0.2	単収増 (乾畑化Ⅲ)	7,400	9,620	2,220	4.4	-	-	-	-	
				2.4	単収増 (乾畑化Ⅳ)	7,400	8,510	1,110	26.6	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	73.9	71	5,247	91	4,775	
				0.1	作付増	-	-	8,104	8.1	-	-	-	-	
		小計	-	-	-	8.1	71	575	16	92				
	更新	10.5	10.5	10.5	減産防止 (水害防止)	7,358	7,400	42	4.4	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	4.4	71	312	91	284	
					キャベツ 計	-	-	-	-	-	6,134	-	5,151	
	青刈りとうもろこし	新設	89.8	90.8	89.8	減産防止 (水害防止)	5,298	5,322	24	21.6	-	-	-	-
						小計	-	-	-	21.6	76	1,642	23	378
					4.2	単収増 (乾畑化Ⅰ)	5,322	6,919	1,597	67.1	-	-	-	-
17.3					単収増 (土層改良Ⅰ)	5,322	6,386	1,064	184.1	-	-	-	-	
0.9					単収増 (乾畑化Ⅱ)	5,322	6,919	1,597	14.4	-	-	-	-	
1.8					単収増 (乾畑化Ⅲ)	5,322	6,919	1,597	28.7	-	-	-	-	
20.7					単収増 (乾畑化Ⅳ)	5,322	6,120	798	165.2	-	-	-	-	
0.2					単収増 (乾畑化Ⅴ)	5,322	6,919	1,597	3.2	-	-	-	-	
0.2					単収増 (乾畑化Ⅶ)	5,322	6,919	1,597	3.2	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	487.5	76	37,050	23	8,522	
		1.0	作付増	-	-	5,841	58.4	-	-	-	-			
		小計	-	-	-	58.4	76	4,438	12	533				
更新		89.8	89.8	89.8	減産防止 (水害防止)	5,298	5,322	24	21.6	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	21.6	76	1,642	23	378	
				青刈りとうもろこし 計	-	-	-	-	-	43,130	-	9,433		
牧草	新設	113.3	114.4	5.3	単収増 (乾畑化Ⅰ)	4,498	5,847	1,349	71.5	-	-	-	-	
				21.6	単収増 (土層改良Ⅰ)	4,498	5,398	900	194.4	-	-	-	-	
				1.2	単収増 (乾畑化Ⅱ)	4,498	5,847	1,349	16.2	-	-	-	-	
				2.2	単収増 (乾畑化Ⅲ)	4,498	5,847	1,349	29.7	-	-	-	-	
				26.2	単収増 (乾畑化Ⅳ)	4,498	5,173	675	176.9	-	-	-	-	
				0.2	単収増 (乾畑化Ⅴ)	4,498	5,847	1,349	2.7	-	-	-	-	
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅵ)	4,498	5,847	1,349	1.3	-	-	-	-	
				0.4	単収増 (乾畑化Ⅶ)	4,498	5,847	1,349	5.4	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	498.1	46	22,913	23	5,270	
					1.1	作付増	-	-	4,938	54.3	-	-	-	-
		小計	-	-	-	54.3	46	2,498	12	300				
	更新	113.3	113.3	113.3	減産防止 (湿俊かんがい)	4,477	4,498	21	23.8	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	23.8	46	1,095	23	252	
					牧草 計	-	-	-	-	-	26,506	-	5,822	
普通畑 計	新設	579.3	585.1								113,011		52,630	
	更新	579.3	579.3								4,731		2,421	
新設											113,011		52,630	
更新											4,731		2,421	
合計											117,742		55,051	

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」・鹿追町の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」・新設整備では、北海道、鹿追町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単 収 :増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり

- 「事業なかりせば単収」 ・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
 ・更新整備では、排水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
- 「事業ありせば単収」 ・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
 ・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
- 「効果算定対象単収」 ・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
 （作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収、水害防止については施設整備による被害防止量である。）
- ・生産物単価 : JA聞き取り等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、小豆、てんさい、ばれいしょ（加工）、ばれいしょ（種子）、キャベツ、青刈りとうもろこし、牧草

○効果算定式

年効果額＝（事業なかりせば単位面積当り営農経費－事業ありせば単位面積当り営農経費）
×効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤＝ (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
小麦（区画整理・農業用排水施設）	2,043,326	1,603,172	-	-	440,154	116.7	51,366
大豆（区画整理・農業用排水施設）	933,035	755,860	-	-	177,175	30.8	5,457
小豆（区画整理・農業用排水施設）	932,967	755,860	-	-	177,107	56.0	9,918
てんさい（区画整理・農業用排水施設）	1,465,750	1,189,361	-	-	276,389	83.9	23,189
ばれいしょ（加工）（区画整理・農業用排水施設）	1,818,673	1,507,665	-	-	311,008	38.7	12,036
ばれいしょ（種子）（区画整理・農業用排水施設）	1,819,957	1,507,665	-	-	312,292	43.2	13,491
キャベツ（区画整理・農業用排水施設）	4,703,146	4,516,825	-	-	186,321	10.6	1,975
青刈りとうもろこし（区画整理・農業用排水施設）	1,961,564	1,491,212	-	-	470,352	90.8	42,708
牧草（更新）（区画整理・農業用排水施設）	1,714,743	1,672,645	-	-	42,098	114.4	4,816
牧草（乾草）（区画整理・農業用排水施設）	632,125	606,128	-	-	25,997	114.4	2,974
牧草（サイレージ）（区画整理・農業用排水施設）	733,106	644,915	-	-	88,191	114.4	10,089
新 設							178,019
更 新							-
合 計							178,019

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

・現況営農経費：地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等に基づき算定した。

・計画営農経費：想定される事業により増減した地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

排水路

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		2,461	1,994	467
更新整備		1,256	2,461	△ 1,205
合 計				△ 738

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、小豆、てんさい、ばれいしょ（加工）、ばれいしょ（種子）、キャベツ、青刈りとうもろこし、牧草

○効果算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額（原単位）} + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額（原単位）}$$

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 （千kcal） ②	単位食料生産額 当たり効果額 （円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤=①×③ +②×④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	113,011	1,179,745	49	9.9	17,217
更新整備	4,731	49,557	49	9.9	722
合計	117,742	1,229,302			17,939

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農村計画課調べ

【便益】

- ・ 農林水産省北海道農政事務所（令和元年～令和6年）「北海道農林水産統計年報」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、北海道農村計画課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3)農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9)土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 二宮東)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農家経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 二宮東)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価	
大項目	中項目	小項目					
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ —	B	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	327	B	
			スマート農業技術等の導入	—	A	A	
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	28.2	A	
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	0.0		
			高収益作物の作付率	—	—	—	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率		%	100.0	A
			農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	100.0	A
		②作付率の増加ポイント		%	0.0		
		農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備		—	—	—
			施設の健全度を踏まえた更新等整備		—	—	—
施設の重要度を踏まえた更新等整備			—	—	—		
農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)		千円/ha・年	404	B	
	農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い		—	○ ○	A	
	再生可能エネルギーの導入	小水力発電等の再生可能エネルギーの導入		—	B	B	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組		—	A	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況		—	A	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況		—	a a —	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	—	—
	関係計画との連携		①都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ⑤地域における開発計画と本事業との整合性 ⑥関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い	—	—	—
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	71.4	B

二宮東地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	2,108,437
当該事業による費用	②	1,695,137
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	413,300
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	49年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	3,289,298
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.56

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	区画整理	-	1,695,137	-	389,460	122,795	1,961,802
	計	-	1,695,137	-	389,460	122,795	1,961,802
そ の 他	道営造成施設	83,672	-	-	73,363	10,400	146,635
	計	83,672	-	-	73,363	10,400	146,635
合 計		83,672	1,695,137	-	462,823	133,195	2,108,437

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		91,657	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		72,522	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		32,350	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		196,529	

(4) 総便益額算出表-1

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	91,657	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	91,657	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	91,657	7.3	6,691	6,691	5,948	
4	R11	1.1699	4	-	91,657	22.0	20,165	20,165	17,237	
5	R12	1.2167	5	-	91,657	38.0	34,830	34,830	28,627	
6	R13	1.2653	6	-	91,657	54.2	49,678	49,678	39,262	
7	R14	1.3159	7	-	91,657	70.5	64,618	64,618	49,106	
8	R15	1.3686	8	-	91,657	86.8	79,558	79,558	58,131	
9	R16	1.4233	9	-	91,657	94.8	86,891	86,891	61,049	
10	R17	1.4802	10	-	91,657	100.0	91,657	91,657	61,922	
11	R18	1.5395	11	-	91,657	100.0	91,657	91,657	59,537	
12	R19	1.6010	12	-	91,657	100.0	91,657	91,657	57,250	
13	R20	1.6651	13	-	91,657	100.0	91,657	91,657	55,046	
14	R21	1.7317	14	-	91,657	100.0	91,657	91,657	52,929	
15	R22	1.8009	15	-	91,657	100.0	91,657	91,657	50,895	
16	R23	1.8730	16	-	91,657	100.0	91,657	91,657	48,936	
17	R24	1.9479	17	-	91,657	100.0	91,657	91,657	47,054	
18	R25	2.0258	18	-	91,657	100.0	91,657	91,657	45,245	
19	R26	2.1068	19	-	91,657	100.0	91,657	91,657	43,505	
20	R27	2.1911	20	-	91,657	100.0	91,657	91,657	41,832	
21	R28	2.2788	21	-	91,657	100.0	91,657	91,657	40,222	
22	R29	2.3699	22	-	91,657	100.0	91,657	91,657	38,675	
23	R30	2.4647	23	-	91,657	100.0	91,657	91,657	37,188	
24	R31	2.5633	24	-	91,657	100.0	91,657	91,657	35,757	
25	R32	2.6658	25	-	91,657	100.0	91,657	91,657	34,383	
26	R33	2.7725	26	-	91,657	100.0	91,657	91,657	33,059	
27	R34	2.8834	27	-	91,657	100.0	91,657	91,657	31,788	
28	R35	2.9987	28	-	91,657	100.0	91,657	91,657	30,566	
29	R36	3.1187	29	-	91,657	100.0	91,657	91,657	29,389	
30	R37	3.2434	30	-	91,657	100.0	91,657	91,657	28,260	
31	R38	3.3731	31	-	91,657	100.0	91,657	91,657	27,173	
32	R39	3.5081	32	-	91,657	100.0	91,657	91,657	26,127	
33	R40	3.6484	33	-	91,657	100.0	91,657	91,657	25,123	
34	R41	3.7943	34	-	91,657	100.0	91,657	91,657	24,156	
35	R42	3.9461	35	-	91,657	100.0	91,657	91,657	23,227	
36	R43	4.1039	36	-	91,657	100.0	91,657	91,657	22,334	
37	R44	4.2681	37	-	91,657	100.0	91,657	91,657	21,475	
38	R45	4.4388	38	-	91,657	100.0	91,657	91,657	20,649	
39	R46	4.6164	39	-	91,657	100.0	91,657	91,657	19,855	
40	R47	4.8010	40	-	91,657	100.0	91,657	91,657	19,091	
41	R48	4.9931	41	-	91,657	100.0	91,657	91,657	18,357	
42	R49	5.1928	42	-	91,657	100.0	91,657	91,657	17,651	
43	R50	5.4005	43	-	91,657	100.0	91,657	91,657	16,972	
44	R51	5.6165	44	-	91,657	100.0	91,657	91,657	16,319	
45	R52	5.8412	45	-	91,657	100.0	91,657	91,657	15,691	
46	R53	6.0748	46	-	91,657	100.0	91,657	91,657	15,088	
47	R54	6.3178	47	-	91,657	100.0	91,657	91,657	14,508	
48	R55	6.5705	48	-	91,657	100.0	91,657	91,657	13,950	
49	R56	6.8333	49	-	91,657	100.0	91,657	91,657	13,413	
合計 (総便益額)									1,533,957	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	72,522	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	72,522	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	72,522	7.3	5,294	5,294	4,706	
4	R11	1.1699	4	-	72,522	21.9	15,882	15,882	13,576	
5	R12	1.2167	5	-	72,522	38.1	27,631	27,631	22,710	
6	R13	1.2653	6	-	72,522	54.4	39,452	39,452	31,180	
7	R14	1.3159	7	-	72,522	70.6	51,201	51,201	38,909	
8	R15	1.3686	8	-	72,522	86.9	63,022	63,022	46,049	
9	R16	1.4233	9	-	72,522	94.8	68,751	68,751	48,304	
10	R17	1.4802	10	-	72,522	100.0	72,522	72,522	48,995	
11	R18	1.5395	11	-	72,522	100.0	72,522	72,522	47,108	
12	R19	1.6010	12	-	72,522	100.0	72,522	72,522	45,298	
13	R20	1.6651	13	-	72,522	100.0	72,522	72,522	43,554	
14	R21	1.7317	14	-	72,522	100.0	72,522	72,522	41,879	
15	R22	1.8009	15	-	72,522	100.0	72,522	72,522	40,270	
16	R23	1.8730	16	-	72,522	100.0	72,522	72,522	38,720	
17	R24	1.9479	17	-	72,522	100.0	72,522	72,522	37,231	
18	R25	2.0258	18	-	72,522	100.0	72,522	72,522	35,799	
19	R26	2.1068	19	-	72,522	100.0	72,522	72,522	34,423	
20	R27	2.1911	20	-	72,522	100.0	72,522	72,522	33,098	
21	R28	2.2788	21	-	72,522	100.0	72,522	72,522	31,825	
22	R29	2.3699	22	-	72,522	100.0	72,522	72,522	30,601	
23	R30	2.4647	23	-	72,522	100.0	72,522	72,522	29,424	
24	R31	2.5633	24	-	72,522	100.0	72,522	72,522	28,292	
25	R32	2.6658	25	-	72,522	100.0	72,522	72,522	27,205	
26	R33	2.7725	26	-	72,522	100.0	72,522	72,522	26,158	
27	R34	2.8834	27	-	72,522	100.0	72,522	72,522	25,152	
28	R35	2.9987	28	-	72,522	100.0	72,522	72,522	24,184	
29	R36	3.1187	29	-	72,522	100.0	72,522	72,522	23,254	
30	R37	3.2434	30	-	72,522	100.0	72,522	72,522	22,360	
31	R38	3.3731	31	-	72,522	100.0	72,522	72,522	21,500	
32	R39	3.5081	32	-	72,522	100.0	72,522	72,522	20,673	
33	R40	3.6484	33	-	72,522	100.0	72,522	72,522	19,878	
34	R41	3.7943	34	-	72,522	100.0	72,522	72,522	19,113	
35	R42	3.9461	35	-	72,522	100.0	72,522	72,522	18,378	
36	R43	4.1039	36	-	72,522	100.0	72,522	72,522	17,671	
37	R44	4.2681	37	-	72,522	100.0	72,522	72,522	16,992	
38	R45	4.4388	38	-	72,522	100.0	72,522	72,522	16,338	
39	R46	4.6164	39	-	72,522	100.0	72,522	72,522	15,710	
40	R47	4.8010	40	-	72,522	100.0	72,522	72,522	15,106	
41	R48	4.9931	41	-	72,522	100.0	72,522	72,522	14,524	
42	R49	5.1928	42	-	72,522	100.0	72,522	72,522	13,966	
43	R50	5.4005	43	-	72,522	100.0	72,522	72,522	13,429	
44	R51	5.6165	44	-	72,522	100.0	72,522	72,522	12,912	
45	R52	5.8412	45	-	72,522	100.0	72,522	72,522	12,416	
46	R53	6.0748	46	-	72,522	100.0	72,522	72,522	11,938	
47	R54	6.3178	47	-	72,522	100.0	72,522	72,522	11,479	
48	R55	6.5705	48	-	72,522	100.0	72,522	72,522	11,038	
49	R56	6.8333	49	-	72,522	100.0	72,522	72,522	10,613	
合計 (総便益額)									1,213,938	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	32,350	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	32,350	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	32,350	7.3	2,362	2,362	2,100	
4	R11	1.1699	4	-	32,350	22.0	7,117	7,117	6,083	
5	R12	1.2167	5	-	32,350	38.0	12,293	12,293	10,104	
6	R13	1.2653	6	-	32,350	54.2	17,534	17,534	13,858	
7	R14	1.3159	7	-	32,350	70.5	22,807	22,807	17,332	
8	R15	1.3686	8	-	32,350	86.8	28,080	28,080	20,517	
9	R16	1.4233	9	-	32,350	94.8	30,668	30,668	21,547	
10	R17	1.4802	10	-	32,350	100.0	32,350	32,350	21,855	
11	R18	1.5395	11	-	32,350	100.0	32,350	32,350	21,013	
12	R19	1.6010	12	-	32,350	100.0	32,350	32,350	20,206	
13	R20	1.6651	13	-	32,350	100.0	32,350	32,350	19,428	
14	R21	1.7317	14	-	32,350	100.0	32,350	32,350	18,681	
15	R22	1.8009	15	-	32,350	100.0	32,350	32,350	17,963	
16	R23	1.8730	16	-	32,350	100.0	32,350	32,350	17,272	
17	R24	1.9479	17	-	32,350	100.0	32,350	32,350	16,608	
18	R25	2.0258	18	-	32,350	100.0	32,350	32,350	15,969	
19	R26	2.1068	19	-	32,350	100.0	32,350	32,350	15,355	
20	R27	2.1911	20	-	32,350	100.0	32,350	32,350	14,764	
21	R28	2.2788	21	-	32,350	100.0	32,350	32,350	14,196	
22	R29	2.3699	22	-	32,350	100.0	32,350	32,350	13,650	
23	R30	2.4647	23	-	32,350	100.0	32,350	32,350	13,125	
24	R31	2.5633	24	-	32,350	100.0	32,350	32,350	12,620	
25	R32	2.6658	25	-	32,350	100.0	32,350	32,350	12,135	
26	R33	2.7725	26	-	32,350	100.0	32,350	32,350	11,668	
27	R34	2.8834	27	-	32,350	100.0	32,350	32,350	11,219	
28	R35	2.9987	28	-	32,350	100.0	32,350	32,350	10,788	
29	R36	3.1187	29	-	32,350	100.0	32,350	32,350	10,373	
30	R37	3.2434	30	-	32,350	100.0	32,350	32,350	9,974	
31	R38	3.3731	31	-	32,350	100.0	32,350	32,350	9,591	
32	R39	3.5081	32	-	32,350	100.0	32,350	32,350	9,222	
33	R40	3.6484	33	-	32,350	100.0	32,350	32,350	8,867	
34	R41	3.7943	34	-	32,350	100.0	32,350	32,350	8,526	
35	R42	3.9461	35	-	32,350	100.0	32,350	32,350	8,198	
36	R43	4.1039	36	-	32,350	100.0	32,350	32,350	7,883	
37	R44	4.2681	37	-	32,350	100.0	32,350	32,350	7,579	
38	R45	4.4388	38	-	32,350	100.0	32,350	32,350	7,288	
39	R46	4.6164	39	-	32,350	100.0	32,350	32,350	7,008	
40	R47	4.8010	40	-	32,350	100.0	32,350	32,350	6,738	
41	R48	4.9931	41	-	32,350	100.0	32,350	32,350	6,479	
42	R49	5.1928	42	-	32,350	100.0	32,350	32,350	6,230	
43	R50	5.4005	43	-	32,350	100.0	32,350	32,350	5,990	
44	R51	5.6165	44	-	32,350	100.0	32,350	32,350	5,760	
45	R52	5.8412	45	-	32,350	100.0	32,350	32,350	5,538	
46	R53	6.0748	46	-	32,350	100.0	32,350	32,350	5,325	
47	R54	6.3178	47	-	32,350	100.0	32,350	32,350	5,120	
48	R55	6.5705	48	-	32,350	100.0	32,350	32,350	4,924	
49	R56	6.8333	49	-	32,350	100.0	32,350	32,350	4,734	
合計 (総便益額)									541,403	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、小豆、てんさい、ばれいしょ（加工）、ばれいしょ（原料）、牧草、青刈りとうもろこし

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額^{※1}＋作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
小麦	新設	76.4	76.4	71.7	単収増(乾燥化I)	615	800	185	132.6	-	-	-	-
				0.1	単収増(土層改良I)	615	738	123	0.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	132.7	35	4,645	87	4,041
					小麦 計	-	-	-	-	-	4,645	-	4,041
大豆	新設	33.7	33.7	31.6	単収増(乾燥化I)	270	351	81	25.6	-	-	-	-
				0.1	単収増(土層改良I)	270	324	54	0.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	25.7	236	6,065	88	5,337
					大豆 計	-	-	-	-	-	6,065	-	5,337
小豆	新設	100.0	100.0	93.8	単収増(乾燥化I)	247	321	74	69.4	-	-	-	-
				0.1	単収増(土層改良I)	247	296	49	0.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	69.4	397	27,552	88	24,246
					小豆 計	-	-	-	-	-	27,552	-	24,246
てんさい	新設	34.7	34.7	32.5	単収増(乾燥化I)	6,755	8,782	2,027	658.8	-	-	-	-
				0.1	単収増(土層改良I)	6,755	8,106	1,351	1.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	660.2	11	7,262	86	6,245
					てんさい 計	-	-	-	-	-	7,262	-	6,245
ばれいしょ(加工)	新設	32.7	32.7	30.7	単収増(乾燥化I)	3,764	4,893	1,129	346.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	346.6	36	12,478	92	11,480
					ばれいしょ(加工)計	-	-	-	-	-	12,478	-	11,480
ばれいしょ(原料)	新設	27.1	27.1	25.5	単収増(乾燥化I)	3,764	4,893	1,129	287.9	-	-	-	-
					小計	-	-	-	287.9	36	10,364	87	9,017
					ばれいしょ(原料)計	-	-	-	-	-	10,364	-	9,017
牧草	新設	150.3	150.4	140.9	単収増(乾燥化I)	3,923	5,100	1,177	1,658.4	-	-	-	-
				0.2	単収増(土層改良I)	3,923	4,708	785	1.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	1,660.0	46	76,360	23	17,563
				0.1	作付増	-	-	5,027	5.0	-	-	-	-
	小計	-	-	-	5.0	46	230	12	28				
	牧草 計	-	-	-	-	-	76,590	-	17,591				

青刈りとうもろこし	新設	47.7	47.8	44.7	単収増 (乾畑化1)	5,805	7,547	1,742	778.7	-	-	-	-	
				0.1	単収増 (土層改良1)	5,805	6,966	1,161	1.2	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	779.9	76	59,272	23	13,633	
				0.1	作付増	-	-	7,440	7.4	-	-	-	-	
					小計	-	-	-	7.4	76	562	12	67	
					青刈りとうもろこし 計	-	-	-	-	59,834	-	13,700		
普通畑計	新設	502.6	502.8										204,790	91,657
	更新												-	-
	新設												204,790	91,657
	更新												-	-
	合計												204,790	91,657

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」・豊頃町の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」・新設整備では、北海道、豊頃町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
- ・単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 : JA聞き取り等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、小豆、てんさい、ばれいしょ（加工）、ばれいしょ（原料）、牧草、青刈りとうもろこし

○効果算定式

年効果額＝（事業なかりせば単位面積当り営農経費－事業ありせば単位面積当り営農経費）
×効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤＝ (①-②) + (③-④)	効果 発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥	
	新 設		更 新					
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④				
	円	円	円	円	円	ha	千円	
小麦（区画整理）	692,121	565,079	-	-	127,042	76.4	9,706	
豆類（区画整理）	601,932	529,299	-	-	72,633	133.7	9,711	
てんさい（区画整理）	1,383,038	1,131,943	-	-	251,095	34.7	8,713	
ばれいしょ（加工）（区画整理）	1,754,671	1,515,955	-	-	238,716	32.7	7,806	
ばれいしょ（原料）（区画整理）	1,144,282	980,149	-	-	164,133	27.1	4,448	
牧草（更新）（区画整理）	732,281	714,575	-	-	17,706	150.4	2,663	
牧草（乾草）（区画整理）	592,825	576,921	-	-	15,904	150.4	2,392	
牧草（サイレージ）（区画整理）	726,551	661,824	-	-	64,727	150.4	9,735	
牧草（放牧）（区画整理）	233,029	231,586	-	-	1,443	150.4	217	
青刈りとうもろこし（区画整理）	2,222,171	1,863,782	-	-	358,389	47.8	17,131	
新 設								72,522
更 新								-
合 計								72,522

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費：地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費：想定される事業により増減した地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。

(3) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、小豆、てんさい、ばれいしょ（加工）、ばれいしょ（原料）、牧草、青刈りとうもろこし

○効果算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額（原単位）} + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額（原単位）}$$

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 （千kcal） ②	単位食料生産額 当たり効果額 （円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤=①×③ +②×④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	204,790	2,254,103	49	9.9	32,350
更新整備	-	-	49	9.9	-
合計	204,790	2,254,103			32,350

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農村計画課調べ

【便益】

- ・ 農林水産省北海道農政事務所（令和元年～令和6年）「北海道農林水産統計年報」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、北海道農村計画課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 枝幸南部)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農家経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の () には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 枝幸南部)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価	
大項目	中項目	小項目					
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ —	B	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	267	B	
			スマート農業技術等の導入	—	A	A	
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	—	—	
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	—	—	
			高収益作物の作付率	—	—	—	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	—	—	
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	—	—	
			②作付率の増加ポイント	%	—	—	
			農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備	—	A	A
				施設の健全度を踏まえた更新等整備	—	A	A
		施設の重要度を踏まえた更新等整備		—	A	A	
農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	0	B		
	農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	—	○ ○	A		
	再生可能エネルギーの導入	小水力発電等の再生可能エネルギーの導入	—	B	B		
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A		
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A		
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a —	A		

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	—	—
	関係計画との連携		①都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ⑤地域における開発計画と本事業との整合性 ⑥関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い	—	A	A
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	73.3	B

枝幸南部地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値		
総費用（現在価値化）	①=②+③	5,988,155		
当該事業による費用	②	2,377,015		
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	3,611,140		
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	51年		
社会的割引率		4%		
総便益額（現在価値化）	⑤	38,307,519		
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	6.39		
感度分析結果	総費用（+10%~△10%）	6.06~6.76		
	総便益（△10%~+10%）	-		
	社会的割引率	4%	2%	1%
		6.39	7.58	8.40

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	営農用水施設	138,051	2,377,015	-	1,135,745	256,827	3,393,984
	計	138,051	2,377,015	-	1,135,745	256,827	3,393,984
そ の 他	国営造成施設	96,662	-	-	151,391	6,915	241,138
	道営造成施設	713,603	-	-	1,497,082	174,504	2,036,181
	その他造成施設	6,600	-	124,273	201,743	15,764	316,852
	計	816,865	-	124,273	1,850,216	197,183	2,594,171
合 計		954,916	2,377,015	124,273	2,985,961	454,010	5,988,155

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
営農経費節減効果		1,792,358	営農用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 16,791	営農用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農村の振興に関する効果			
生活用水確保効果		24,607	営農用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生活用水の確保に係る経費が増減する効果
合 計		1,800,174	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考	
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果			計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①		
1	R8	1.0400	1	1,742,665	49,693	0.0	0	1,742,665	1,675,639		
2	R9	1.0816	2	1,742,665	49,693	0.0	0	1,742,665	1,611,192		
3	R10	1.1249	3	1,742,665	49,693	0.0	0	1,742,665	1,549,173		
4	R11	1.1699	4	1,742,665	49,693	0.0	0	1,742,665	1,489,585		
5	R12	1.2167	5	1,742,665	49,693	0.0	0	1,742,665	1,432,288		
6	R13	1.2653	6	1,742,665	49,693	0.0	0	1,742,665	1,377,274		
7	R14	1.3159	7	1,742,665	49,693	0.0	0	1,742,665	1,324,314		
8	R15	1.3686	8	1,742,665	49,693	0.0	0	1,742,665	1,273,319		
9	R16	1.4233	9	1,742,665	49,693	0.0	0	1,742,665	1,224,383		
10	R17	1.4802	10	1,742,665	49,693	0.0	0	1,742,665	1,177,317		
11	R18	1.5395	11	1,742,665	49,693	0.0	0	1,742,665	1,131,968		
12	R19	1.6010	12	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	1,119,524		
13	R20	1.6651	13	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	1,076,427		
14	R21	1.7317	14	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	1,035,028		
15	R22	1.8009	15	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	995,257		
16	R23	1.8730	16	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	956,945		
17	R24	1.9479	17	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	920,149		
18	R25	2.0258	18	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	884,766		
19	R26	2.1068	19	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	850,749		
20	R27	2.1911	20	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	818,017		
21	R28	2.2788	21	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	786,536		
22	R29	2.3699	22	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	756,301		
23	R30	2.4647	23	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	727,211		
24	R31	2.5633	24	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	699,238		
25	R32	2.6658	25	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	672,353		
26	R33	2.7725	26	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	646,477		
27	R34	2.8834	27	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	621,613		
28	R35	2.9987	28	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	597,712		
29	R36	3.1187	29	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	574,713		
30	R37	3.2434	30	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	552,617		
31	R38	3.3731	31	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	531,368		
32	R39	3.5081	32	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	510,920		
33	R40	3.6484	33	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	491,272		
34	R41	3.7943	34	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	472,382		
35	R42	3.9461	35	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	454,210		
36	R43	4.1039	36	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	436,745		
37	R44	4.2681	37	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	419,943		
38	R45	4.4388	38	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	403,793		
39	R46	4.6164	39	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	388,259		
40	R47	4.8010	40	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	373,330		
41	R48	4.9931	41	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	358,967		
42	R49	5.1928	42	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	345,162		
43	R50	5.4005	43	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	331,887		
44	R51	5.6165	44	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	319,124		
45	R52	5.8412	45	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	306,848		
46	R53	6.0748	46	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	295,048		
47	R54	6.3178	47	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	283,700		
48	R55	6.5705	48	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	272,789		
49	R56	6.8333	49	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	262,298		
50	R57	7.1067	50	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	252,207		
51	R58	7.3910	51	1,742,665	49,693	100.0	49,693	1,792,358	242,505		
合計 (総便益額)									38,310,842		

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 36,435	19,644	0.0	0	△ 36,435	△ 35,034	
2	R9	1.0816	2	△ 36,435	19,644	0.0	0	△ 36,435	△ 33,686	
3	R10	1.1249	3	△ 36,435	19,644	0.0	0	△ 36,435	△ 32,390	
4	R11	1.1699	4	△ 36,435	19,644	0.0	0	△ 36,435	△ 31,144	
5	R12	1.2167	5	△ 36,435	19,644	0.0	0	△ 36,435	△ 29,946	
6	R13	1.2653	6	△ 36,435	19,644	0.0	0	△ 36,435	△ 28,796	
7	R14	1.3159	7	△ 36,435	19,644	0.0	0	△ 36,435	△ 27,688	
8	R15	1.3686	8	△ 36,435	19,644	0.0	0	△ 36,435	△ 26,622	
9	R16	1.4233	9	△ 36,435	19,644	0.0	0	△ 36,435	△ 25,599	
10	R17	1.4802	10	△ 36,435	19,644	0.0	0	△ 36,435	△ 24,615	
11	R18	1.5395	11	△ 36,435	19,644	0.0	0	△ 36,435	△ 23,667	
12	R19	1.6010	12	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 10,488	
13	R20	1.6651	13	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 10,084	
14	R21	1.7317	14	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 9,696	
15	R22	1.8009	15	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 9,324	
16	R23	1.8730	16	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 8,965	
17	R24	1.9479	17	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 8,620	
18	R25	2.0258	18	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 8,289	
19	R26	2.1068	19	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 7,970	
20	R27	2.1911	20	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 7,663	
21	R28	2.2788	21	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 7,368	
22	R29	2.3699	22	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 7,085	
23	R30	2.4647	23	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 6,813	
24	R31	2.5633	24	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 6,551	
25	R32	2.6658	25	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 6,299	
26	R33	2.7725	26	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 6,056	
27	R34	2.8834	27	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 5,823	
28	R35	2.9987	28	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 5,599	
29	R36	3.1187	29	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 5,384	
30	R37	3.2434	30	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 5,177	
31	R38	3.3731	31	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 4,978	
32	R39	3.5081	32	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 4,786	
33	R40	3.6484	33	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 4,602	
34	R41	3.7943	34	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 4,425	
35	R42	3.9461	35	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 4,255	
36	R43	4.1039	36	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 4,091	
37	R44	4.2681	37	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 3,934	
38	R45	4.4388	38	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 3,783	
39	R46	4.6164	39	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 3,637	
40	R47	4.8010	40	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 3,497	
41	R48	4.9931	41	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 3,363	
42	R49	5.1928	42	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 3,234	
43	R50	5.4005	43	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 3,109	
44	R51	5.6165	44	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 2,990	
45	R52	5.8412	45	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 2,875	
46	R53	6.0748	46	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 2,764	
47	R54	6.3178	47	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 2,658	
48	R55	6.5705	48	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 2,556	
49	R56	6.8333	49	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 2,457	
50	R57	7.1067	50	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 2,363	
51	R58	7.3910	51	△ 36,435	19,644	100.0	19,644	△ 16,791	△ 2,272	
合計 (総便益額)									△ 535,070	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	生活用水確保効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	24,585	22	0.0	0	24,585	23,639	
2	R9	1.0816	2	24,585	22	0.0	0	24,585	22,730	
3	R10	1.1249	3	24,585	22	0.0	0	24,585	21,855	
4	R11	1.1699	4	24,585	22	0.0	0	24,585	21,015	
5	R12	1.2167	5	24,585	22	0.0	0	24,585	20,206	
6	R13	1.2653	6	24,585	22	0.0	0	24,585	19,430	
7	R14	1.3159	7	24,585	22	0.0	0	24,585	18,683	
8	R15	1.3686	8	24,585	22	0.0	0	24,585	17,964	
9	R16	1.4233	9	24,585	22	0.0	0	24,585	17,273	
10	R17	1.4802	10	24,585	22	0.0	0	24,585	16,609	
11	R18	1.5395	11	24,585	22	0.0	0	24,585	15,969	
12	R19	1.6010	12	24,585	22	100.0	22	24,607	15,370	
13	R20	1.6651	13	24,585	22	100.0	22	24,607	14,778	
14	R21	1.7317	14	24,585	22	100.0	22	24,607	14,210	
15	R22	1.8009	15	24,585	22	100.0	22	24,607	13,664	
16	R23	1.8730	16	24,585	22	100.0	22	24,607	13,138	
17	R24	1.9479	17	24,585	22	100.0	22	24,607	12,633	
18	R25	2.0258	18	24,585	22	100.0	22	24,607	12,147	
19	R26	2.1068	19	24,585	22	100.0	22	24,607	11,680	
20	R27	2.1911	20	24,585	22	100.0	22	24,607	11,230	
21	R28	2.2788	21	24,585	22	100.0	22	24,607	10,798	
22	R29	2.3699	22	24,585	22	100.0	22	24,607	10,383	
23	R30	2.4647	23	24,585	22	100.0	22	24,607	9,984	
24	R31	2.5633	24	24,585	22	100.0	22	24,607	9,600	
25	R32	2.6658	25	24,585	22	100.0	22	24,607	9,231	
26	R33	2.7725	26	24,585	22	100.0	22	24,607	8,875	
27	R34	2.8834	27	24,585	22	100.0	22	24,607	8,534	
28	R35	2.9987	28	24,585	22	100.0	22	24,607	8,206	
29	R36	3.1187	29	24,585	22	100.0	22	24,607	7,890	
30	R37	3.2434	30	24,585	22	100.0	22	24,607	7,587	
31	R38	3.3731	31	24,585	22	100.0	22	24,607	7,295	
32	R39	3.5081	32	24,585	22	100.0	22	24,607	7,014	
33	R40	3.6484	33	24,585	22	100.0	22	24,607	6,745	
34	R41	3.7943	34	24,585	22	100.0	22	24,607	6,485	
35	R42	3.9461	35	24,585	22	100.0	22	24,607	6,236	
36	R43	4.1039	36	24,585	22	100.0	22	24,607	5,996	
37	R44	4.2681	37	24,585	22	100.0	22	24,607	5,765	
38	R45	4.4388	38	24,585	22	100.0	22	24,607	5,544	
39	R46	4.6164	39	24,585	22	100.0	22	24,607	5,330	
40	R47	4.8010	40	24,585	22	100.0	22	24,607	5,125	
41	R48	4.9931	41	24,585	22	100.0	22	24,607	4,928	
42	R49	5.1928	42	24,585	22	100.0	22	24,607	4,739	
43	R50	5.4005	43	24,585	22	100.0	22	24,607	4,556	
44	R51	5.6165	44	24,585	22	100.0	22	24,607	4,381	
45	R52	5.8412	45	24,585	22	100.0	22	24,607	4,213	
46	R53	6.0748	46	24,585	22	100.0	22	24,607	4,051	
47	R54	6.3178	47	24,585	22	100.0	22	24,607	3,895	
48	R55	6.5705	48	24,585	22	100.0	22	24,607	3,745	
49	R56	6.8333	49	24,585	22	100.0	22	24,607	3,601	
50	R57	7.1067	50	24,585	22	100.0	22	24,607	3,463	
51	R58	7.3910	51	24,585	22	100.0	22	24,607	3,329	
合計 (総便益額)									531,747	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の家畜用水・機械洗浄水に係る経費の増減をもって年効果額を算定した。

○効果算定式

年効果額 = 事業なかりせば営農経費 - 事業ありせば営農経費

○年効果額の算定

営農用水確保にかかる経費の増減

区 分	事業なかりせば 営農経費 ①	事業ありせば 営農経費 ②	年効果額 ③=①-②
	千円	千円	千円
家畜用水	49,115		49,115
防除用水			0
機械洗浄水	578		578
新設整備	49,693	0	49,693
家畜用水	1,729,130		1,729,130
防除用水			0
機械洗浄水	13,535		13,535
更新整備	1,742,665	0	1,742,665
合 計			1,792,358

【新設】

- ・事業なかりせば営農経費：現況施設に係る営農経費を基に算定した。
- ・事業ありせば営農経費：整備後における施設に係る営農経費を算定した。

【更新】

- ・事業なかりせば営農経費：整備した施設の機能が喪失した状態において想定される営農経費を算定した。
- ・事業ありせば営農経費：現況の営農経費を算定した。

(2) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

営農用水施設

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		36,915	17,271	19,644
更新整備		480	36,915	△ 36,435
合 計				△ 16,791

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(3) 生活用水確保効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の生活用水の利用に係る経費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

営農用水施設

○効果算定式

年効果額 = 事業なかりせば生活用水確保経費 - 事業ありせば生活用水確保経費

○年効果額の算定

生活用水確保にかかる経費の増減

区 分	事業なかりせば 生活用水確保経費 ①	事業ありせば 生活用水確保経費 ②	年効果額 ③=①-②
	千円	千円	千円
新設整備	22	-	22
更新整備	24,607	22	24,585
合 計			24,607

【新設】

- ・事業なかりせば営農経費：現況施設に係る生活用水確保経費を基に算定した。
- ・事業ありせば営農経費：整備後における施設に係る生活用水確保経費を算定した。

【更新】

- ・事業なかりせば営農経費：整備した施設の機能が喪失した状態において想定される生活用水確保経費を算定した。
- ・事業ありせば営農経費：現況の生活用水確保経費を算定した。

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）
- ・ 土地改良事業の感度分析について（平成31年4月1日付け30農振第3976号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和6年4月1日一部改正））

【費用】

- ・ 当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農政部農村計画課調べ

【便益】

- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、北海道農政部農村計画課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3)農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9)土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名:北海道)(地区名:三号川)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農家経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名:北海道)(地区名:三号川)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,389	A
			スマート農業技術等の導入	—	—	—
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	—	—
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	—	—
			高収益作物の作付率	—	—	—
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	—	—
			農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	—
		②作付率の増加ポイント		%	—	—
		農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の健全度を踏まえた更新等整備	—	A	A
施設の重要度を踏まえた更新等整備			—	B	B	
農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,721	B	
	農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	—	—	—	
	再生可能エネルギーの導入	小水力発電等の再生可能エネルギーの導入	—	B	B	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	—	—	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組 生態系・景観への配慮	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A	
		①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a —	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ⑤地域における開発計画と本事業との整合性 ⑥関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	緊急性		国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い	—	—	—
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	75.0	B

三号川地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	1,430,877
当該事業による費用	②	944,164
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	486,713
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	46年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	3,408,691
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	2.38

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	揚水機場	2,263	704,146	-	143,725	78,031	772,103
	用水路	5,838	240,018	-	34,587	34,587	245,856
	計	8,101	944,164	-	178,312	112,618	1,017,959
そ の 他	頭首工	-	-	-	9,184	383	8,801
	用水路	38,408	-	12,435	433,597	80,323	404,117
	計	38,408	-	12,435	442,781	80,706	412,918
合 計		46,509	944,164	12,435	621,093	193,324	1,430,877

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		84,713	農業用排水施設整備、区画整理、客土、暗渠排水、除礫を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		49,694	農業用排水施設整備、農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の単価が維持、向上する効果
営農経費節減効果		18,710	農業用排水施設整備、区画整理、暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 4,320	農業用排水施設整備、区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		14,684	農業用排水施設整備及び区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		163,481	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引 率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	84,713	-	-	-	84,713	81,455	
2	R9	1.0816	2	84,713	-	-	-	84,713	78,322	
3	R10	1.1249	3	84,713	-	-	-	84,713	75,307	
4	R11	1.1699	4	84,713	-	-	-	84,713	72,410	
5	R12	1.2167	5	84,713	-	-	-	84,713	69,625	
6	R13	1.2653	6	84,713	-	-	-	84,713	66,951	
7	R14	1.3159	7	84,713	-	-	-	84,713	64,376	
8	R15	1.3686	8	84,713	-	-	-	84,713	61,898	
9	R16	1.4233	9	84,713	-	-	-	84,713	59,519	
10	R17	1.4802	10	84,713	-	-	-	84,713	57,231	
11	R18	1.5395	11	84,713	-	-	-	84,713	55,026	
12	R19	1.6010	12	84,713	-	-	-	84,713	52,913	
13	R20	1.6651	13	84,713	-	-	-	84,713	50,876	
14	R21	1.7317	14	84,713	-	-	-	84,713	48,919	
15	R22	1.8009	15	84,713	-	-	-	84,713	47,039	
16	R23	1.8730	16	84,713	-	-	-	84,713	45,229	
17	R24	1.9479	17	84,713	-	-	-	84,713	43,489	
18	R25	2.0258	18	84,713	-	-	-	84,713	41,817	
19	R26	2.1068	19	84,713	-	-	-	84,713	40,209	
20	R27	2.1911	20	84,713	-	-	-	84,713	38,662	
21	R28	2.2788	21	84,713	-	-	-	84,713	37,174	
22	R29	2.3699	22	84,713	-	-	-	84,713	35,745	
23	R30	2.4647	23	84,713	-	-	-	84,713	34,371	
24	R31	2.5633	24	84,713	-	-	-	84,713	33,048	
25	R32	2.6658	25	84,713	-	-	-	84,713	31,778	
26	R33	2.7725	26	84,713	-	-	-	84,713	30,555	
27	R34	2.8834	27	84,713	-	-	-	84,713	29,380	
28	R35	2.9987	28	84,713	-	-	-	84,713	28,250	
29	R36	3.1187	29	84,713	-	-	-	84,713	27,163	
30	R37	3.2434	30	84,713	-	-	-	84,713	26,119	
31	R38	3.3731	31	84,713	-	-	-	84,713	25,114	
32	R39	3.5081	32	84,713	-	-	-	84,713	24,148	
33	R40	3.6484	33	84,713	-	-	-	84,713	23,219	
34	R41	3.7943	34	84,713	-	-	-	84,713	22,326	
35	R42	3.9461	35	84,713	-	-	-	84,713	21,468	
36	R43	4.1039	36	84,713	-	-	-	84,713	20,642	
37	R44	4.2681	37	84,713	-	-	-	84,713	19,848	
38	R45	4.4388	38	84,713	-	-	-	84,713	19,085	
39	R46	4.6164	39	84,713	-	-	-	84,713	18,350	
40	R47	4.8010	40	84,713	-	-	-	84,713	17,645	
41	R48	4.9931	41	84,713	-	-	-	84,713	16,966	
42	R49	5.1928	42	84,713	-	-	-	84,713	16,314	
43	R50	5.4005	43	84,713	-	-	-	84,713	15,686	
44	R51	5.6165	44	84,713	-	-	-	84,713	15,083	
45	R52	5.8412	45	84,713	-	-	-	84,713	14,503	
46	R53	6.0748	46	84,713	-	-	-	84,713	13,945	
合計 (総便益額)									1,769,198	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	品質向上効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	49,694	-	-	-	49,694	47,783	
2	R9	1.0816	2	49,694	-	-	-	49,694	45,945	
3	R10	1.1249	3	49,694	-	-	-	49,694	44,176	
4	R11	1.1699	4	49,694	-	-	-	49,694	42,477	
5	R12	1.2167	5	49,694	-	-	-	49,694	40,843	
6	R13	1.2653	6	49,694	-	-	-	49,694	39,274	
7	R14	1.3159	7	49,694	-	-	-	49,694	37,764	
8	R15	1.3686	8	49,694	-	-	-	49,694	36,310	
9	R16	1.4233	9	49,694	-	-	-	49,694	34,915	
10	R17	1.4802	10	49,694	-	-	-	49,694	33,572	
11	R18	1.5395	11	49,694	-	-	-	49,694	32,279	
12	R19	1.6010	12	49,694	-	-	-	49,694	31,039	
13	R20	1.6651	13	49,694	-	-	-	49,694	29,844	
14	R21	1.7317	14	49,694	-	-	-	49,694	28,697	
15	R22	1.8009	15	49,694	-	-	-	49,694	27,594	
16	R23	1.8730	16	49,694	-	-	-	49,694	26,532	
17	R24	1.9479	17	49,694	-	-	-	49,694	25,512	
18	R25	2.0258	18	49,694	-	-	-	49,694	24,531	
19	R26	2.1068	19	49,694	-	-	-	49,694	23,587	
20	R27	2.1911	20	49,694	-	-	-	49,694	22,680	
21	R28	2.2788	21	49,694	-	-	-	49,694	21,807	
22	R29	2.3699	22	49,694	-	-	-	49,694	20,969	
23	R30	2.4647	23	49,694	-	-	-	49,694	20,162	
24	R31	2.5633	24	49,694	-	-	-	49,694	19,387	
25	R32	2.6658	25	49,694	-	-	-	49,694	18,641	
26	R33	2.7725	26	49,694	-	-	-	49,694	17,924	
27	R34	2.8834	27	49,694	-	-	-	49,694	17,235	
28	R35	2.9987	28	49,694	-	-	-	49,694	16,572	
29	R36	3.1187	29	49,694	-	-	-	49,694	15,934	
30	R37	3.2434	30	49,694	-	-	-	49,694	15,322	
31	R38	3.3731	31	49,694	-	-	-	49,694	14,732	
32	R39	3.5081	32	49,694	-	-	-	49,694	14,166	
33	R40	3.6484	33	49,694	-	-	-	49,694	13,621	
34	R41	3.7943	34	49,694	-	-	-	49,694	13,097	
35	R42	3.9461	35	49,694	-	-	-	49,694	12,593	
36	R43	4.1039	36	49,694	-	-	-	49,694	12,109	
37	R44	4.2681	37	49,694	-	-	-	49,694	11,643	
38	R45	4.4388	38	49,694	-	-	-	49,694	11,195	
39	R46	4.6164	39	49,694	-	-	-	49,694	10,765	
40	R47	4.8010	40	49,694	-	-	-	49,694	10,351	
41	R48	4.9931	41	49,694	-	-	-	49,694	9,953	
42	R49	5.1928	42	49,694	-	-	-	49,694	9,570	
43	R50	5.4005	43	49,694	-	-	-	49,694	9,202	
44	R51	5.6165	44	49,694	-	-	-	49,694	8,848	
45	R52	5.8412	45	49,694	-	-	-	49,694	8,507	
46	R53	6.0748	46	49,694	-	-	-	49,694	8,180	
合計 (総便益額)									1,037,839	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引 率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	18,710	-	-	-	18,710	17,990	
2	R9	1.0816	2	18,710	-	-	-	18,710	17,298	
3	R10	1.1249	3	18,710	-	-	-	18,710	16,633	
4	R11	1.1699	4	18,710	-	-	-	18,710	15,993	
5	R12	1.2167	5	18,710	-	-	-	18,710	15,378	
6	R13	1.2653	6	18,710	-	-	-	18,710	14,787	
7	R14	1.3159	7	18,710	-	-	-	18,710	14,218	
8	R15	1.3686	8	18,710	-	-	-	18,710	13,671	
9	R16	1.4233	9	18,710	-	-	-	18,710	13,146	
10	R17	1.4802	10	18,710	-	-	-	18,710	12,640	
11	R18	1.5395	11	18,710	-	-	-	18,710	12,153	
12	R19	1.6010	12	18,710	-	-	-	18,710	11,686	
13	R20	1.6651	13	18,710	-	-	-	18,710	11,237	
14	R21	1.7317	14	18,710	-	-	-	18,710	10,804	
15	R22	1.8009	15	18,710	-	-	-	18,710	10,389	
16	R23	1.8730	16	18,710	-	-	-	18,710	9,989	
17	R24	1.9479	17	18,710	-	-	-	18,710	9,605	
18	R25	2.0258	18	18,710	-	-	-	18,710	9,236	
19	R26	2.1068	19	18,710	-	-	-	18,710	8,881	
20	R27	2.1911	20	18,710	-	-	-	18,710	8,539	
21	R28	2.2788	21	18,710	-	-	-	18,710	8,210	
22	R29	2.3699	22	18,710	-	-	-	18,710	7,895	
23	R30	2.4647	23	18,710	-	-	-	18,710	7,591	
24	R31	2.5633	24	18,710	-	-	-	18,710	7,299	
25	R32	2.6658	25	18,710	-	-	-	18,710	7,019	
26	R33	2.7725	26	18,710	-	-	-	18,710	6,748	
27	R34	2.8834	27	18,710	-	-	-	18,710	6,489	
28	R35	2.9987	28	18,710	-	-	-	18,710	6,239	
29	R36	3.1187	29	18,710	-	-	-	18,710	5,999	
30	R37	3.2434	30	18,710	-	-	-	18,710	5,769	
31	R38	3.3731	31	18,710	-	-	-	18,710	5,547	
32	R39	3.5081	32	18,710	-	-	-	18,710	5,333	
33	R40	3.6484	33	18,710	-	-	-	18,710	5,128	
34	R41	3.7943	34	18,710	-	-	-	18,710	4,931	
35	R42	3.9461	35	18,710	-	-	-	18,710	4,741	
36	R43	4.1039	36	18,710	-	-	-	18,710	4,559	
37	R44	4.2681	37	18,710	-	-	-	18,710	4,384	
38	R45	4.4388	38	18,710	-	-	-	18,710	4,215	
39	R46	4.6164	39	18,710	-	-	-	18,710	4,053	
40	R47	4.8010	40	18,710	-	-	-	18,710	3,897	
41	R48	4.9931	41	18,710	-	-	-	18,710	3,747	
42	R49	5.1928	42	18,710	-	-	-	18,710	3,603	
43	R50	5.4005	43	18,710	-	-	-	18,710	3,464	
44	R51	5.6165	44	18,710	-	-	-	18,710	3,331	
45	R52	5.8412	45	18,710	-	-	-	18,710	3,203	
46	R53	6.0748	46	18,710	-	-	-	18,710	3,080	
合計 (総便益額)									390,747	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引 率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 5,377	1,057	0.0	0	△ 5,377	△ 5,170	
2	R9	1.0816	2	△ 5,377	1,057	0.0	0	△ 5,377	△ 4,971	
3	R10	1.1249	3	△ 5,377	1,057	0.0	0	△ 5,377	△ 4,780	
4	R11	1.1699	4	△ 5,377	1,057	0.0	0	△ 5,377	△ 4,596	
5	R12	1.2167	5	△ 5,377	1,057	0.0	0	△ 5,377	△ 4,419	
6	R13	1.2653	6	△ 5,377	1,057	0.0	0	△ 5,377	△ 4,250	
7	R14	1.3159	7	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 3,283	
8	R15	1.3686	8	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 3,157	
9	R16	1.4233	9	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 3,035	
10	R17	1.4802	10	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 2,919	
11	R18	1.5395	11	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 2,806	
12	R19	1.6010	12	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 2,698	
13	R20	1.6651	13	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 2,594	
14	R21	1.7317	14	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 2,495	
15	R22	1.8009	15	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 2,399	
16	R23	1.8730	16	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 2,306	
17	R24	1.9479	17	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 2,218	
18	R25	2.0258	18	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 2,132	
19	R26	2.1068	19	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 2,051	
20	R27	2.1911	20	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,972	
21	R28	2.2788	21	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,896	
22	R29	2.3699	22	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,823	
23	R30	2.4647	23	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,753	
24	R31	2.5633	24	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,685	
25	R32	2.6658	25	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,621	
26	R33	2.7725	26	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,558	
27	R34	2.8834	27	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,498	
28	R35	2.9987	28	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,441	
29	R36	3.1187	29	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,385	
30	R37	3.2434	30	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,332	
31	R38	3.3731	31	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,281	
32	R39	3.5081	32	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,231	
33	R40	3.6484	33	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,184	
34	R41	3.7943	34	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,139	
35	R42	3.9461	35	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,095	
36	R43	4.1039	36	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,053	
37	R44	4.2681	37	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 1,012	
38	R45	4.4388	38	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 973	
39	R46	4.6164	39	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 936	
40	R47	4.8010	40	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 900	
41	R48	4.9931	41	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 865	
42	R49	5.1928	42	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 832	
43	R50	5.4005	43	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 800	
44	R51	5.6165	44	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 769	
45	R52	5.8412	45	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 740	
46	R53	6.0748	46	△ 5,377	1,057	100.0	1,057	△ 4,320	△ 711	
合計 (総便益額)									△ 95,764	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ① 0.04	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	14,684	-	-	-	14,684	14,119	
2	R9	1.0816	2	14,684	-	-	-	14,684	13,576	
3	R10	1.1249	3	14,684	-	-	-	14,684	13,054	
4	R11	1.1699	4	14,684	-	-	-	14,684	12,552	
5	R12	1.2167	5	14,684	-	-	-	14,684	12,069	
6	R13	1.2653	6	14,684	-	-	-	14,684	11,605	
7	R14	1.3159	7	14,684	-	-	-	14,684	11,159	
8	R15	1.3686	8	14,684	-	-	-	14,684	10,729	
9	R16	1.4233	9	14,684	-	-	-	14,684	10,317	
10	R17	1.4802	10	14,684	-	-	-	14,684	9,920	
11	R18	1.5395	11	14,684	-	-	-	14,684	9,538	
12	R19	1.6010	12	14,684	-	-	-	14,684	9,172	
13	R20	1.6651	13	14,684	-	-	-	14,684	8,819	
14	R21	1.7317	14	14,684	-	-	-	14,684	8,480	
15	R22	1.8009	15	14,684	-	-	-	14,684	8,154	
16	R23	1.8730	16	14,684	-	-	-	14,684	7,840	
17	R24	1.9479	17	14,684	-	-	-	14,684	7,538	
18	R25	2.0258	18	14,684	-	-	-	14,684	7,248	
19	R26	2.1068	19	14,684	-	-	-	14,684	6,970	
20	R27	2.1911	20	14,684	-	-	-	14,684	6,702	
21	R28	2.2788	21	14,684	-	-	-	14,684	6,444	
22	R29	2.3699	22	14,684	-	-	-	14,684	6,196	
23	R30	2.4647	23	14,684	-	-	-	14,684	5,958	
24	R31	2.5633	24	14,684	-	-	-	14,684	5,729	
25	R32	2.6658	25	14,684	-	-	-	14,684	5,508	
26	R33	2.7725	26	14,684	-	-	-	14,684	5,296	
27	R34	2.8834	27	14,684	-	-	-	14,684	5,093	
28	R35	2.9987	28	14,684	-	-	-	14,684	4,897	
29	R36	3.1187	29	14,684	-	-	-	14,684	4,708	
30	R37	3.2434	30	14,684	-	-	-	14,684	4,527	
31	R38	3.3731	31	14,684	-	-	-	14,684	4,353	
32	R39	3.5081	32	14,684	-	-	-	14,684	4,186	
33	R40	3.6484	33	14,684	-	-	-	14,684	4,025	
34	R41	3.7943	34	14,684	-	-	-	14,684	3,870	
35	R42	3.9461	35	14,684	-	-	-	14,684	3,721	
36	R43	4.1039	36	14,684	-	-	-	14,684	3,578	
37	R44	4.2681	37	14,684	-	-	-	14,684	3,440	
38	R45	4.4388	38	14,684	-	-	-	14,684	3,308	
39	R46	4.6164	39	14,684	-	-	-	14,684	3,181	
40	R47	4.8010	40	14,684	-	-	-	14,684	3,059	
41	R48	4.9931	41	14,684	-	-	-	14,684	2,941	
42	R49	5.1928	42	14,684	-	-	-	14,684	2,828	
43	R50	5.4005	43	14,684	-	-	-	14,684	2,719	
44	R51	5.6165	44	14,684	-	-	-	14,684	2,614	
45	R52	5.8412	45	14,684	-	-	-	14,684	2,514	
46	R53	6.0748	46	14,684	-	-	-	14,684	2,417	
合計 (総便益額)									306,671	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、大豆、たまねぎ、トマト、メロン

○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額^{※1} + 作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤ = ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
水稲	更新	ha	ha	ha	水管理改良	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
		96.3	96.3	96.3		253	602	349	336.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	336.1	261	87,722	92	80,704
				水稲計	-	-	-	336.1	-	87,722	-	80,704	
大豆	更新	1.4	1.4	1.4	湿害解消	248	268	20	0.3	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.3	156	47	88	41
					大豆計	-	-	-	0.3	-	47	-	41
たまねぎ	更新	1.9	1.9	1.9	湿害解消	4,004	4,524	520	9.9	-	-	-	-
					小計	-	-	-	9.9	77	762	91	693
					たまねぎ計	-	-	-	9.9	-	762	-	693
トマト	更新	1.6	1.6	1.6	湿害解消	4,356	5,009	653	10.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	10.4	328	3,411	91	3,104
					トマト計	-	-	-	10.4	-	3,411	-	3,104
メロン	更新	0.3	0.3	0.3	湿害解消	845	972	127	0.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.4	469	188	91	171
					メロン計	-	-	-	0.4	-	188	-	171
水田計	新設												
	更新	102.4	102.4								92,130		84,713
新設													
更新											92,130		84,713
合計											92,130		84,713

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」・関係市町村（美唄市）の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした（作付面積は美唄市の実績による）
- ・単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
「事業なかりせば単収」・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
- ・生産物単価 : 農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻

○効果算定式

年効果額 = 効果対象数量 × 単価向上額

○年効果額の算定

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		機能維持	機能向上	事業なかりせば	現況	事業ありせば	現況-事業なかりせば	事業ありせば-現況	現況-事業なかりせば	事業ありせば-現況	計
		①	②	③	④	⑤	⑥ = ④-③	⑦ = ⑤-④	⑧ = ①×⑥	⑨ = ②×⑦	⑩ = ⑧+⑨
		t	t	千円/t	千円/t	千円/t	千円/t	千円/t	千円	千円	千円
水稻	湿潤かんがい	243.6	-	57	261	225	204	△36	49,694	-	49,694
新設										-	-
更新									49,694		49,694
合計											49,694

・効果対象数量 : 作物生産効果における作付面積、単収から算定された生産量

・生産物単価 : 「現況単価」は、農林水産統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。「事業なかりせば単価」は、「現況単価」に畑地かんがい導入地区の試験データを用いて算出した畑地かんがい品質向上率を考慮し決定し

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、小麦、大豆、たまねぎ、トマト、メロン

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当り営農経費 - 事業ありせば単位面積当り営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当り営農経費				ha当り 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻 (用水改良) 更新	-	-	1,170,356	995,912	174,444	96.3	16,799
小麦 (用水改良) 更新	-	-	7,009,971	6,852,193	157,778	0.9	142
大豆 (用水改良) 更新	-	-	2,747,464	2,546,750	200,714	1.4	281
たまねぎ (用水改良) 更新	-	-	11,540,114	11,234,325	305,789	1.9	581
トマト (用水改良) 更新	-	-	28,777,420	28,259,295	518,125	1.6	829
メロン (用水改良) 更新	-	-	22,639,497	22,379,497	260,000	0.3	78
新 設							-
更 新							18,710
合 計							18,710

・各作物のha当り営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、〇〇県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導法人を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

頭首工、揚水機場、用水路

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		7,801	6,744	1,057
更新整備		2,424	7,801	△ 5,377
合計				△ 4,320

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(5) その他の効果 (国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay : 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method : 仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、大豆、たまねぎ、トマト、メロン

○効果算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額 (原単位)} \\ + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額 (原単位)}$$

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額	増加供給熱量 (千kcal)	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千円)	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal)	当該土地改良 事業における 年効果額
	①	②	③	④	⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	-	-	49	9.9	-
更新整備	92,130	1,027,222	49	9.9	14,684
合計	92,130	1,027,222			14,684

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額 (原単位) は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額 (原単位) は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農村計画課調べ

【便益】

- ・農林水産省北海道農政事務所（令和元年～令和6年）「北海道農林水産統計年報」
- ・上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、北海道農村計画課調べ